

2022年3月5日

【緊急声明】

私たちは、ロシアによるウクライナへの軍事侵略の即時中止を求めます
平和憲法を有し、唯一の被爆国として、核兵器先制使用の威嚇は断固として許しません。

滋賀民主医療機関連合会
会長 東 昌子

ロシア軍は2月24日ウクライナに侵攻し、ロシアが国際ルールを無視して一方的に承認したウクライナ東部地域に侵攻し、首都キーフを含む複数の都市のインフラや軍事施設などをミサイル攻撃しました。すでに多くの死傷者がでており、民間人の死者も報告されています。わたしたち滋賀民医連は、ロシアによるウクライナ侵攻に対し怒りを込めて断固として抗議します。

今、侵されているのは、ウクライナの主権であり、人々の命です。民医連は、「人類の生命と健康を破壊する一切の戦争政策に反対し、核兵器をなくし、平和と環境を守ります」の項目を含む民医連綱領の実現に向けて、毎日の医療・介護・福祉活動にとりこんでいます。そして、何よりもいのちと人権を大切にすることを求めて、日々の医療・介護活動に全力で奮闘しています。いのちや健康への最大の敵は戦争です。世界中の国々と市民社会が「ロシアは軍事侵略をただちに中止せよ」「国連憲章を守れ」の一点で、声をあげて、力を合わせましょう。

ロシアは、ウクライナへの軍事侵攻開始にあたって「現在のロシアは、今や世界で最も強力な核保有国の一つだ」「ロシアへの直接攻撃は侵略者の壊滅と悲惨な結果につながる」と述べ、核兵器による威嚇をおこないました。核兵器の使用がもたらすものは、広島と長崎への原爆投下が示しているように、大量破壊と非人道的な破滅的結末しかなく、核兵器禁止条約が発効し核兵器の廃絶に向けて進みつつある世界に対する挑戦です。国際社会が連帯してロシア政府の暴挙に対して、紛争の平和的解決を定めた国連憲章と国際法に基づいて、ウクライナの主権尊重の原則に立った外交政策と政治的打開の努力を行うことを求めるとともに、日本政府に対してもそのための最大限の行動を行うことを強く求めます。

また、3月4日ロシアは、ウクライナ南部のザポロジエにある同国最大の原発の関連施設に砲撃をおこない一部を破壊し、占拠しました。万が一にも原子炉が破壊されれば、福島原発やチェルノブイリ原発の重大事故をはるかに超える大惨事につながる危険があり、人類全体の生存を脅かす犯罪行為となります。ただちに攻撃を中止するよう強く求めます。

滋賀民医連は幅広い市民、ロシアの国内外の反戦平和を求める人々と連帯し、戦争が個人の尊厳を守ることと対極にあり「正しい戦争はない」ことを改めて確認し、今回のロシア政府の覇権主義はもちろんあらゆる戦争を進める動きと断固としてたたかい続けることを表明します。

以上